

You, Unlimited

Ryukoku



Symposium

龍谷大学国際社会文化研究所シンポジウム

公共空間の再編と生活空間の行方

日時：**2025年1月16日**（木）14:00～17:00（開場13:30）

会場：龍谷大学深草キャンパス
成就館 Ryukoku Main Theater

入場無料

20世紀後半に始まる都市再開発（ジェントリフィケーション）の流れは、いまや大都市だけでなく地方農村さえも飲み込み、地球規模で公共空間のあり方を変容させ、ローカルな人々の生活空間と共同体が空洞化し、危機に瀕しています。今回のシンポジウムでは、沖縄、福島、大阪という三つの地域を事例として、現在進行中の公共空間の再編が引き起こす問題とこれからの生活空間のあり方を考えます。

基調講演

- 1) 阿部小涼（琉球大学：国際社会学）
「沖縄基地問題と開発」
- 2) セシル・浅沼＝ブリス（フランス国立科学センター：日本研究）
「福島原発事故と帰還困難区域の現状」
- 3) 原口剛（神戸大学教授：人文地理学）
「大阪万博とジェントリフィケーション」

指定討論者

- 1) 清水耕介（国際学部：国際関係論）
- 2) 清家竜介（社会学部：社会学）

司会

村澤真保呂（社会学部：社会思想）

概要

産業革命と市民革命をつうじて確立された19世紀以後の近代都市は、ながらく下町や同業組合などの地域共同体の生活空間に支えられて発展してきました。しかし第二次大戦後の高度経済成長以後、世界的な都市再開発の流れのなかで、都市の公共空間の再編が進み、地域共同体の生活空間が失われていきました。

とくに1980年代の経済的グローバル化以後の大規模再開発の流れは、大都市だけでなく地方農村さえも飲み込み、そこで公共空間と生活空間を一変させ、世界規模でさまざまな問題を引き起こしています。このような再開発が続けば、私たちの公共空間と生活空間はどうなるのでしょうか？

今回のシンポジウムは、沖縄、福島、大阪という三つの地域で再開発をめぐる問題に取り組んできた研究者を招いて、現在進行中の公共空間の再編が引き起こす問題と人々の生活空間が直面する課題を議論します。

前半の基調講演では、阿部小涼氏に米軍基地に翻弄されつづけている沖縄の問題について、セシル・浅沼＝ブリス氏に震災と原発事故からの復興の途上にある福島県の現状について、原口剛氏に万博開催に向けて混乱のさなかにある大阪で起こっている問題について、それぞれの研究の成果を発表していただきます。

後半のディスカッションと質疑応答では、まず国際状況を踏まえたグローバルな観点から清水耕介氏に、公共社会学の観点から清家竜介氏に、それぞれ討議をしていただき、会場の皆さんと議論を深めたいと思います。

ふるってご参加ください。

会場アクセス・問い合わせ先

会場アクセス：龍谷大学深草キャンパス 成就館 Ryukoku Main Theater

- ・京阪「龍谷大前深草」駅より西へ徒歩5分
- ・JR奈良線「稲荷」駅より南西へ徒歩10分
- ・京都市営地下鉄「くいな橋」駅より東へ徒歩7分

問い合わせ先：龍谷大学国際社会文化研究所／担当：吉村・山原

E-mail：shabunken@ad.ryukoku.ac.jp

※予定変更の際は、龍谷大学国際社会文化研究所ホームページにてお知らせいたします。

■ <https://scri.rec.ryukoku.ac.jp/>

